

## 修士課程

### 1. 履修上の注意

#### (1) 修了要件

- 修士論文による修了

課程修了には、2年以上在学し、32単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、修士論文の審査ならびに最終試験に合格しなければなりません。

- リサーチペーパーによる修了

課程修了には、2年以上在学し、36単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、リサーチペーパーの審査ならびに最終試験に合格しなければなりません。

※リサーチペーパーとは、本専攻の教育課程に即した特定課題についての研究成果であり、修士論文に代わる内容のものです。

#### (2) 修了所要単位および履修上の指示

下表のとおり、各クラスター（科目群）から単位を修得しなければなりません。論文提出予定者は、11月を目途としてアウトライン批評会を実施します。その詳細については、事前に掲示します。

履修区分	修了所要単位	履修上の指示
必修科目	12 単位	「Academic Reading（初級）、（上級）」「Thesis Writing（初級）、（上級）」「Presentation & Debate（初級）、（上級）」の計 12 単位を修得すること
選択必修科目	4 単位	「基礎理論科目」より 4 単位修得すること
選択科目	16 単位以上修得 または 20 単位以上修得	「グローバル・イシュー科目」「アジア国際政治科目」「実践講座科目」より、修士論文の場合は 16 単位以上、リサーチペーパーの場合は 20 単位以上修得すること
合計	32 単位以上修得 または 36 単位以上修得	32 単位以上修得および修士論文 または 36 単位以上修得およびリサーチペーパー

#### (3) 修士論文、リサーチペーパーについて

- 「修士論文」と「リサーチペーパー」は、内容面ではなく、以下に示す①分量面における形式的条件と、②学生本人が選択する提出区分をもって区別します。
- 学生は、下記分量上の条件を満たしていれば、自ら執筆する文書を、「修士論文」あるいは「リサーチペーパー」のいずれかとして提出することができます。（なお、以下に示す字数は、表紙、目次、本文、注釈、文献リストを含むものです。）

##### <和文で執筆する場合>

修士論文 70,000 字程度（WORD の A4 標準フォーマットで約 50 頁以上）

リサーチペーパー 35,000 字程度（WORD の A4 標準フォーマットで約 25 頁）

<英文で執筆する場合>

修士論文 20,000words 程度

リサーチペーパー 10,000words 程度

※例えば和文で、70,000 字程度の文章でも、学生が希望すれば、「リサーチペーパー」として提出することができます。

※英文で執筆する場合でも、論文要旨は日本語・英語のどちらでも構いません。

(4) カリキュラムの構造とクラスター (科目群・科目区分) の位置づけ

国際政治学専攻カリキュラム一覧

(今年度休講科目も含む)

クラスター (科目群)	授業科目の名称	単位数
基礎理論	国際政治理論	2
	アメリカ外交史	2
	政治理論研究 1	2
	政治理論研究 2	2
	国際政治史研究 1	2
	国際政治史研究 2	2
	アジア国際政治史	2
	国際公共政策研究 1	2
	国際公共政策研究 2	2
	国際協力政策研究 1	2
	国際協力政策研究 2	2
	非伝統的安全保障研究	2
専門英語 国際政治	Academic Reading (初級)	2
	Academic Reading (上級)	2
	Thesis Writing (初級)	2
	Thesis Writing (上級)	2
	Presentation & Debate (初級)	2
	Presentation & Debate (上級)	2
グローバル・イシュー	国連・平和構築研究 1 (国連組織)	2
	国連・平和構築研究 2 (平和構築)	2
	国際公共調達研究 1	2
	国際公共調達研究 2	2
	国際情勢分析論 1	2
	国際情勢分析論 2	2
	地球環境政治論	2
	持続可能な開発のための教育 (ESD)	2
	市民社会組織ネットワーク論	2
	グローバル・メディア研究	2
	国際金融政策論	2
	国際食糧資源エネルギー政策	2
	グローバル・ビジネス研究	2
	プロジェクト評価手法	2
	国際開発プロジェクト・マネジメント手法	2
地球規模課題政策研究	2	

クラスター (科目群)	授業科目の名称	単位数	
アジア国際政治	サブクラスター 1: アジア 研究基礎論	アジア比較政治	2
		アジア統合論	2
		アジア平和軍事研究	2
		戦略と政策	2
	サブクラスター 2: アジア 関係政策論	アメリカの対外政策	2
		対外政策研究 (中国) (1)	2
		対外政策研究 (中国) (2)	2
		対外政策研究 (朝鮮半島) (1)	2
		対外政策研究 (朝鮮半島) (2)	2
		対外政策研究 (ロシア・中央アジア) (1)	2
	対外政策研究 (ロシア・中央アジア) (2)	2	
	サブクラスター 3: アジア 地域研究各論	国際地域研究 (中国) (1)	2
		国際地域研究 (中国) (2)	2
		国際地域研究 (朝鮮半島) (1)	2
		国際地域研究 (朝鮮半島) (2)	2
国際地域研究 (ロシア・中央アジア) (1)		2	
国際地域研究 (ロシア・中央アジア) (2)		2	
国際地域研究 (東南アジア) (1)		2	
国際地域研究 (東南アジア) (2)		2	
実践講座	授業型	グローバル政治経済特別セミナー	2
		JICA 寄付講座	2
		国際機関講座	2
		総合講座・外交総合講座	2
	外部プログラム 活用型	総合講座・国際協力講座	2
		海外大学院留学指導講座	2
		国連大学プログラム	4
	外部セミナー・シンポ参加型	グローバル・インターンシップ	4
		海外フィールドワークプログラム	4
		国際政治特別セミナー	2

教育の柱となる領域(分野)は、国際政治学およびアジア地域研究(国際政治専門英語を含む)です。グローバル・イシューとアジア国際政治の各分野で、高度な実践的知識と英語力に加えて、構想力・交渉力・実行力を身につけた国際的に通用する高度専門職業人を養成するために、理論と実践を兼ね備えた魅力あるカリキュラムを展開しています。

本専攻の教育課程は、以下の「5つの科目区分：群(クラスター)」から構成されています。

①基礎理論クラスター(科目群) ※重複履修不可

「基礎理論クラスター」は、高度専門職業人養成のためには国際政治の基礎理論を十分に習得したうえで応用分野に臨む必要があるとの認識から、「理論」「歴史」「政策」の3本柱から構成する科目群です。「4単位」を選択必修とします。(各科目：2単位)

②国際政治専門英語クラスター(科目群) ※重複履修不可

グローバル社会で活躍するためには、専門性に裏付けられた総合的な英語力を涵養することが不可欠です。本専攻の「国際政治専門英語クラスター」は、国際政治学関連分野で「実践的英語力」[(Academic Reading)(Thesis Writing)(Presentation & Debate)]を総合的・体系的に習得するための科目群です。受講生の能力に応じた「初級」「上級」クラスを設置しています。これら全科目は必修とし、履修修了時点でTOEIC900点/TOEFL(CBT)253点、(iBT)101点/IELTS7.0以上をめざすことが期待されています。但し、これらの科目の履修に際しては、入学時点でTOEIC800点/TOEFL(CBT)230点、(iBT)88点/IELTS6.5以上の学生は、「初級」を認定し免除します。(詳細は次の(6)①を参照)

※少人数授業のため他専攻、他研究科には開講していません。

③グローバル・イシュー・クラスター(科目群) ※重複履修不可

「グローバル・イシュー・クラスター」は、地球規模問題群(グローバル・イシュー)の関連分野で高度な実践的知識を習得するため、当該分野で豊富な実務経験を有する教員が最先端の知識とベスト・プラクティスを教授する22科目から構成される科目群です。これらは、いずれも選択科目です。受講生は、各人の将来進路を想定しながら、計画的にこれらの科目を履修することによって、当該分野の実践的な専門知識を涵養することが期待されています。

④アジア国際政治クラスター(科目群) ※重複履修不可

「アジア国際政治クラスター」は、日本とアジアの国際関係の重要性に鑑み、アジア国際政治分野に特化した高度な実践的知識を習得するため、下記3つのサブクラスター(<サブクラスター1：アジア研究基礎論><サブクラスター2：アジア関係政策論><サブクラスター3：アジア地域研究各論>)のもと、当該分野・地域の学術的知見を有する教員が理論と方法論を教授する22科目から構成される科目群です。これらは、いずれも選択科目となります。受講生は、各人の将来進路を想定しながら、計画的にこれら科目を履修することによって、当該分野の実践的な専門知識を涵養することが期待されています。

⑤実践講座クラスター(科目群) ※年度が異なれば重複履修可

従来の大学院教育は、所謂「象牙の塔」にこもって文献解説を中心とした内容が主流であったのに対して、これでは国際的に通用する実践的な人材を育成するには不十分であるとの認識に基づき、本専攻では、「現実とのダイアログ」を重視しています。

「実践講座クラスター」は、現実とのダイアログを確保するとともに、地球規模問題群(グローバル・イシュー)・アジア国際政治の関連分野で高度な実践的知識を習得するため、「授業型」、「外部プログラム活用型」、「外部セミナー・シンポ参加型」の3種類から構成する科目群です。これらは、いずれも選択科目です。また、年度が異なれば複数回履修することも可能です。

このうち、特に、「外部プログラム活用型」および「外部セミナー・シンポ参加型」については、学生の年間履修計画および将来進路希望に従い、事前諒解・事後報告を前提として、指導教授との密接な連絡・指導のもと履修するものです。

具体的には、学生は各自当該プログラムに応募→選考→合格→参加→レポート提出→指導教授による評価という手順をとります。「外部プログラム活用型」および「外部セミナー・シンポ参加型」については、英語が使用言語となるものも多いことから、実践的英語力の習得に資することが期待されています。※少人数授業のため他専攻、他研究科には開講していません。但し、「グローバル政治経済特別セミナー」

「JICA 寄付講座」「国際機関講座」「総合講座・外交総合講座」は履修可能です。

## (5) 履修開講期と開講時期

本専攻は基本的には昼間の春・秋学期科目を主としていますが、一部夜間の科目や4期制の期間に開講されている科目もありますので、開講時期には注意してください。また隔週開講となっている場合、授業開始日が若干不規則になることもありますので予め担当教員に開講日を確認するようにしてください。

## (6) 授業履修上の諸注意

### ①国際政治専門英語クラスター初級免除の申請方法ならびに科目の認定について

入学時点で TOEIC800 点 / TOEFL(CBT)230 点、(iBT)88 点 / IELTS6.5 以上のスコアを取っている場合は初級科目を修得済みということで履修を免除することができます。

また、研修生や学部在籍時など本課程入学前に先取り科目として履修した科目をカウントさせる場合もこの手続きが必要となります。

ただし認定できるのは最大 10 単位までです。

希望者は以下のとおり事務窓口にて所定の手続きを行ってください。

①手続き期間：4月7日(土)～14日(土)

②提出書類：事務所定の科目認定願および該当スコアの認定証(先取り科目の場合は成績証明書)

※なお手続きの詳細については、本要項の「2. 入学前修得単位の認定」も参照してください(「授業・履修・論文」) 27 ページ)。

### ②実践講座クラスターの履修方法について

「授業型」以外の実践講座の履修を希望される場合は、事前に指導教員、専攻主任の指導・相談を受けてから登録を行ってください。すぐに決められない場合は、履修変更時に適宜、登録、削除を行いますので申し出てください。

### ③他専攻および他大学協定科目の履修について

他専攻科目の受講は可能ですが、国際政治学専攻の修了単位としてはカウントされません。履修に際しては、事前に指導教員または専攻主任に相談後、受講する科目担当教員に他専攻で履修を希望する旨を申し出てください。

## (7) TOEIC®・TOEFL®・IELTS 試験について

本専攻の学生は履修修了時点で TOEIC900 点 / TOEFL(CBT)253 点、(iBT)101 点 / IELTS7.0 以上をめざすことが期待されています。そのため年に1回の TOEIC、TOEFL または IELTS 受験を義務化し、結果のスコアを専攻主任に提出し報告をしなければなりません。

事務部では1回分の受験料は予算化しているため、該当年度に受験した振込の控えと受験票をもってその年度内2月末日までに所定の申請用紙を添えて申請願います。なお詳細については3階の専攻掲示板に掲示いたします。

※ TOEIC®、TOEFL®は、米国 Educational Testing Service(ETS)の登録商標です。

## (8) 国際政治学専攻特別海外留学について(2018年度以前入学者までが対象)

本制度は、2019年度より他の留学制度と統合され、支給条件および支給金額が見直される予定です。「特別海外留学奨学金」における募集は、2018年度が最終となります。

本専攻は、国際政治学ないし隣接諸分野のプログラムを有するような海外の大学院への留学を積極的に奨励します。そのために海外大学院留学指導講座を設けて指導や助言を行うほか、既存の大学院留学制度に加えて、本専攻独自の「特別海外留学奨学金」を設置することにより、財政面からの支援も行う方向になっています。

「特別海外留学奨学金」は、厳正な審査に基づいて、本専攻の留学希望者の中から優秀な者を1名選抜し、最高300万円の留学奨学金を支給する制度です。

この奨学金の支給を受ける選抜生は、まず本専攻に在籍し必要な科目を履修してから、海外の大学院に留学する。留学先大学院で学位を取得した後に帰国し、本専攻の修士プログラムも修了する。海外の修士1年プログラムで学位を取得できれば、最短で3年間に2つの修士号を取得できることになる。(なお、留学期間中の法政側授業料は免除。休学在籍料のみとなります。)

申請の詳細が決まり次第、学生用掲示板に詳細掲示にてお知らせしますが、希望者は以下の書類の提出が留学する年の前年の秋学期初めには必要となります。予め指導教員と相談をし、準備を進めておいてください。

- 申請書（指定様式）
- 留学計画書（指定様式）
- 留学受入先大学院の入学許可書（相手先大学院の書式による）
- 指導教授の推薦書（指定様式）
- その他掲示により提出を求める書類（指定様式）

（注）ただし次に該当する学生は、特別海外留学奨学金を申請できないので注意してください。

- (i)申請時に休学中の者。(ii)国費外国人留学生。(iii)既存の学内留学補助金を受給した者。(iv)本奨学金支給金額に相当する学外奨学金をすでに獲得している者。

他にも通常の法政大学海外交流大学への派遣留学制度や、海外留学制度があります。（「授業・履修・論文」58 ページ）

## 2. 授業科目担当者一覧

授業科目	科目区分	担当教員名	単位	備考
国際政治理論	基礎理論科目	森 聡	2	学部「国際政治学入門」、政治学「国際政治の基礎理論1」、公共政策学・サステイナビリティ学「国際政治学基礎」と合同
アメリカ外交史		森 聡	2	学部、政治学「アメリカ外交研究1」と合同
国際政治史研究1		下斗米 伸 夫	2	政治学と合同
国際政治史研究2		下斗米 伸 夫	2	政治学と合同
国際公共政策研究1		坂 根 徹	2	政治学「国際行政研究1」と合同
国際協力政策研究1		武 貞 稔 彦	2	政治学「国際開発政策研究1」、公共政策学・サステイナビリティ学「国際協力論」と合同
非伝統的安全保障研究		本 多 美 樹	2	
Academic Reading (初級)	国際政治専門英語科目	アラン・メドウズ	2	※他研究科・他専攻の履修不可
Academic Reading (上級)		ザヘル・ハスン	2	※他研究科・他専攻の履修不可
Thesis Writing (初級)		アラン・メドウズ	2	※他研究科・他専攻の履修不可
Thesis Writing (上級)		ザヘル・ハスン	2	※他研究科・他専攻の履修不可
Presentation & Debate (初級)		アラン・メドウズ	2	※他研究科・他専攻の履修不可
Presentation & Debate (上級)		ザヘル・ハスン	2	※他研究科・他専攻の履修不可
国際公共調達研究1	グローバル・イシュー科目	坂 根 徹	2	
国際情勢分析論1		福 田 潤 一	2	政治学と合同
国際情勢分析論2		福 田 潤 一	2	政治学と合同
地球環境政治論		横 田 匡 紀	2	公共政策学、サステイナビリティ学と合同
グローバル・メディア研究		萩 谷 順	2	学部「現代メディア論」と合同
国際食糧資源エネルギー政策		柴 田 明 夫	2	
グローバル・ビジネス研究		瀧 澤 道 夫	2	
地球規模課題政策研究		本 多 美 樹	2	

授業科目	科目区分	担当教員名	単位	備考	
アジア比較政治	アジア国際政治科目	福 田 円	2		
アジア統合論		福 田 円	2		
戦略と政策		森 聡	2		
対外政策研究（中国）（1）		菱 田 雅 晴	2	政治学「日中関係政策論1」と合同	
対外政策研究（中国）（2）		菱 田 雅 晴	2	政治学「日中関係政策論2」と合同	
対外政策研究（朝鮮半島）（1）		権 鎬 淵	2		
対外政策研究（朝鮮半島）（2）		権 鎬 淵	2		
対外政策研究（ロシア・中央アジア）（1）		ウミド・マフムドフ	2		
対外政策研究（ロシア・中央アジア）（2）		ウミド・マフムドフ	2		
国際地域研究（中国）（1）		菱 田 雅 晴	2	政治学「国際地域研究1」と合同	
国際地域研究（中国）（2）		菱 田 雅 晴	2	政治学「国際地域研究2」と合同	
国際地域研究（ロシア・中央アジア）（1）		小 林 昭 菜	2		
国際地域研究（ロシア・中央アジア）（2）		小 林 昭 菜	2		
国際地域研究（東南アジア）（1）		浅 見 靖 仁	2		
国際地域研究（東南アジア）（2）		浅 見 靖 仁	2		
国際地域研究（ヨーロッパ）（1）		宮 下 雄 一 郎	2		
国際地域研究（ヨーロッパ）（2）		宮 下 雄 一 郎	2		
グローバル政治経済特別セミナー		実践講座科目	菱 田 雅 晴	2	※他研究科・他専攻の履修可
JICA 寄付講座			弓 削 昭 子	2	
国際機関講座			弓 削 昭 子	2	学部「国際機構論Ⅰ」と合同 ※学部卒で学部在籍時に履修済みの場合は履修不可
総合講座・国際協力講座	弓 削 昭 子		2	学部「国際協力講座」と合同 ※学部卒で学部在籍時に履修済みの場合は履修不可	
海外大学院留学指導講座	森 聡		2		
国連大学プログラム	○森聡・浅見・権・坂根・下斗米・萩谷・菱田・福田・本多・宮下・弓削		4		
グローバル・インターンシップ	○森聡・浅見・権・坂根・下斗米・萩谷・菱田・福田・本多・宮下・弓削		4	※他研究科・他専攻の履修不可	
海外フィールドワークプログラム	○森聡・浅見・権・坂根・下斗米・萩谷・菱田・福田・本多・宮下・弓削		4		

授業科目	科目区分	担当教員名	単位	備考
国際政治特別セミナー	実践講座科目	○森聡・浅見・権・坂根・下斗米・萩谷・菱田・福田・本多・宮下・弓削	2	※他研究科・他専攻の履修不可

※法政大学大学院学則の授業科目一覧表に記載のある科目で、上記一覧表に記載のない科目は、2018年度休講です。

### 3. 講義概要について

授業科目の講義概要および教員の主要研究業績については、Web シラバスを参照してください。

Web シラバス URL : <https://syllabus.hosei.ac.jp/>